

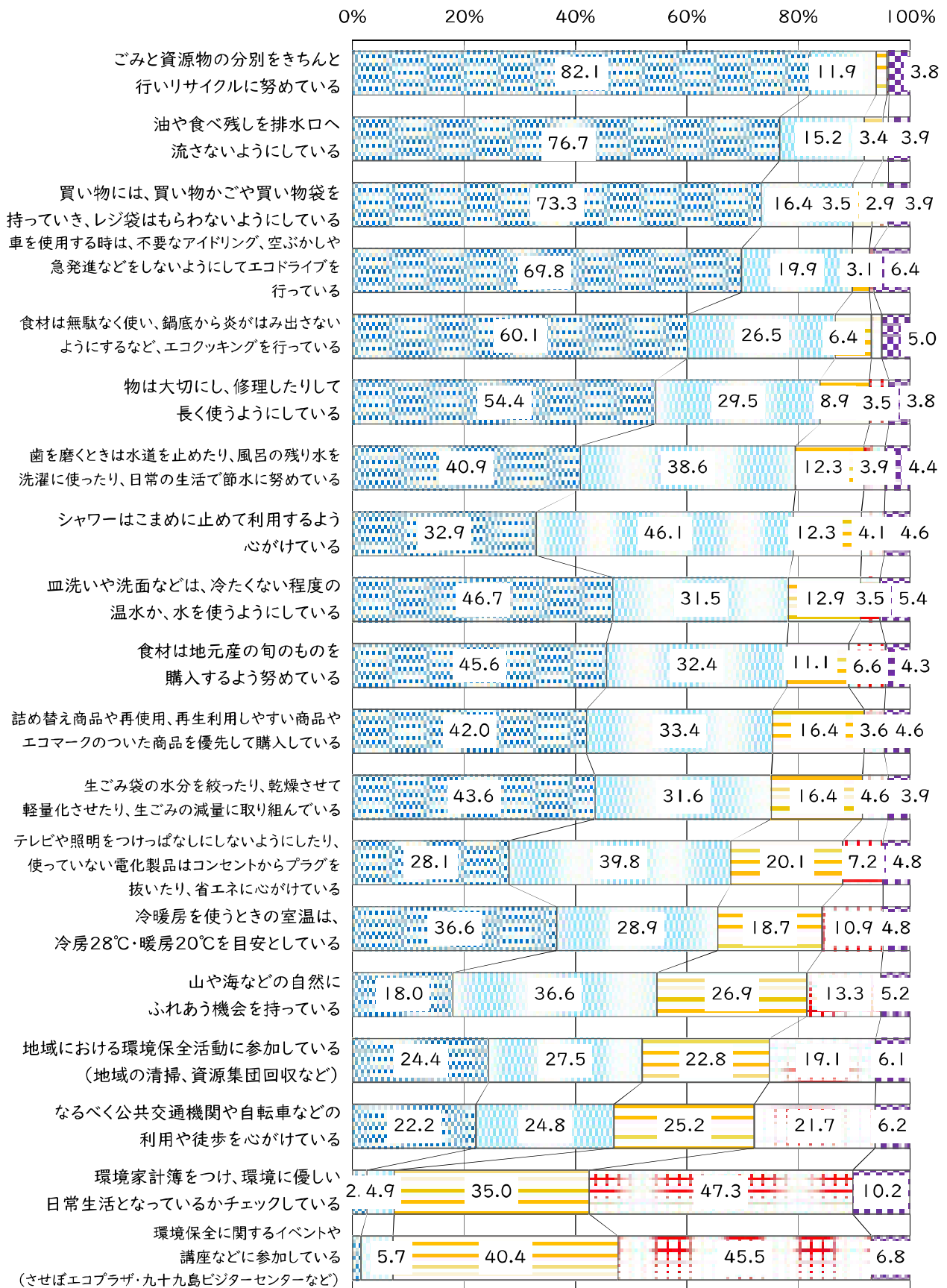
問5 あなたが(または、あなたのご家庭で)日頃行っている環境保全の取り組みについてお聞きします。次の1~20の取り組みについて、あてはまる番号一つに○をつけてください。

(「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

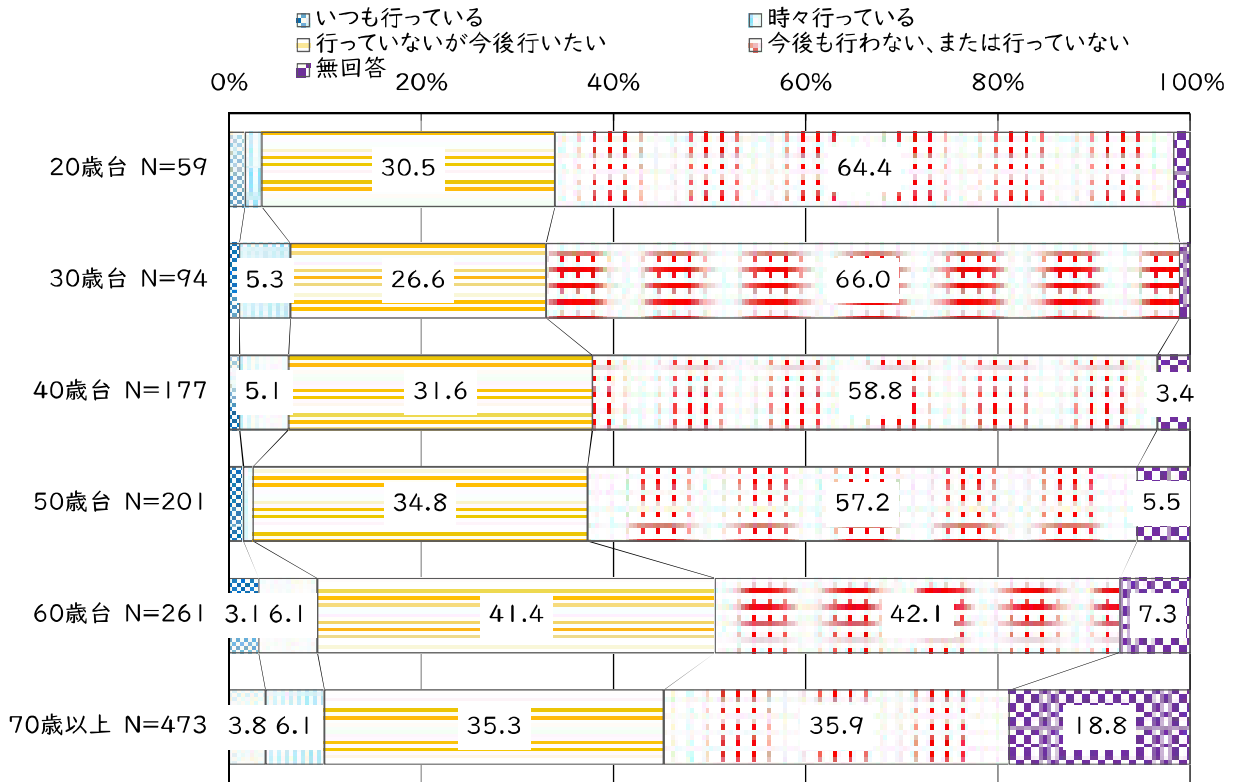
質問事項 ( )内の数値は「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合の合計、[]内は昨年の割合(※)	いつも行っている	時々行っている	行っていないが今後行いたい	今後行わない、又は行っていない	該当しない	無回答	合計
ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている (94.0%[94.0%])	1,044 82.1%	151 11.9%	25 2.0%	4 0.3%	- -	48 3.8%	1,272 100%
油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている (91.9%[91.4%])	975 76.7%	193 15.2%	43 3.4%	12 0.9%	- -	49 3.9%	1,272 100%
買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている (89.7%[90.5%])	933 73.3%	209 16.4%	44 3.5%	37 2.9%	- -	49 3.9%	1,272 100%
車を使用する時は、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている (89.7%[89.4%])	769 69.8%	219 19.9%	34 3.1%	9 0.8%	170 -	71 6.4%	1,102 100%
食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている(86.6%[85.8%])	765 60.1%	337 26.5%	82 6.4%	24 1.9%	- -	64 5.0%	1,272 100%
歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使った日常生活で節水に努めている (83.9%[83.9%])	692 54.4%	375 29.5%	113 8.9%	44 3.5%	- -	48 3.8%	1,272 100%
テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている (79.5%[73.7%])	520 40.9%	491 38.6%	156 12.3%	49 3.9%	- -	56 4.4%	1,272 100%
食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている (79.0%[73.7%])	419 32.9%	587 46.1%	156 12.3%	52 4.1%	- -	58 4.6%	1,272 100%
シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている (78.2%[82.3%])	496 46.7%	335 31.5%	137 12.9%	37 3.5%	210 -	57 5.4%	1,062 100%
皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている (78.0%[75.8%])	580 45.6%	412 32.4%	141 11.1%	84 6.6%	- -	55 4.3%	1,272 100%
詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコのついた商品を優先して購入している (75.4%[75.9%])	534 42.0%	425 33.4%	209 16.4%	46 3.6%	- -	58 4.6%	1,272 100%
生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり生ごみの減量に取り組んでいる (75.2%[72.1%])	554 43.6%	402 31.6%	208 16.4%	59 4.6%	- -	49 3.9%	1,272 100%
物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている (67.9%[85.8%])	357 28.1%	506 39.8%	256 20.1%	92 7.2%	- -	61 4.8%	1,272 100%
冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている (65.5%[58.8%])	466 36.6%	368 28.9%	238 18.7%	139 10.9%	- -	61 4.8%	1,272 100%
山や海などの自然にふれあう機会を持っている (54.6%[53.9%])	229 18.0%	466 36.6%	342 26.9%	169 13.3%	- -	66 5.2%	1,272 100%
地域における環境保全活動に参加している (地域の清掃、資源集団回収など) (51.9%[50.8%])	311 24.4%	350 27.5%	290 22.8%	243 19.1%	- -	78 6.1%	1,272 100%
なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている (47.0%[42.1%])	282 22.2%	315 24.8%	320 25.2%	276 21.7%	- -	79 6.2%	1,272 100%
環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている (7.5%[25.5%])	33 2.6%	62 4.9%	445 35.0%	602 47.3%	- -	130 10.2%	1,272 100%
環境保全に関するイベントや講座などに参加している(させばエコプラザ・九十九島ビジターセンターなど) (7.2%[5.2%])	19 1.5%	73 5.7%	514 40.4%	579 45.5%	- -	87 6.8%	1,272 100%

※有効回答者数(N):1,272人、「該当しない」を除いた割合で計算している。

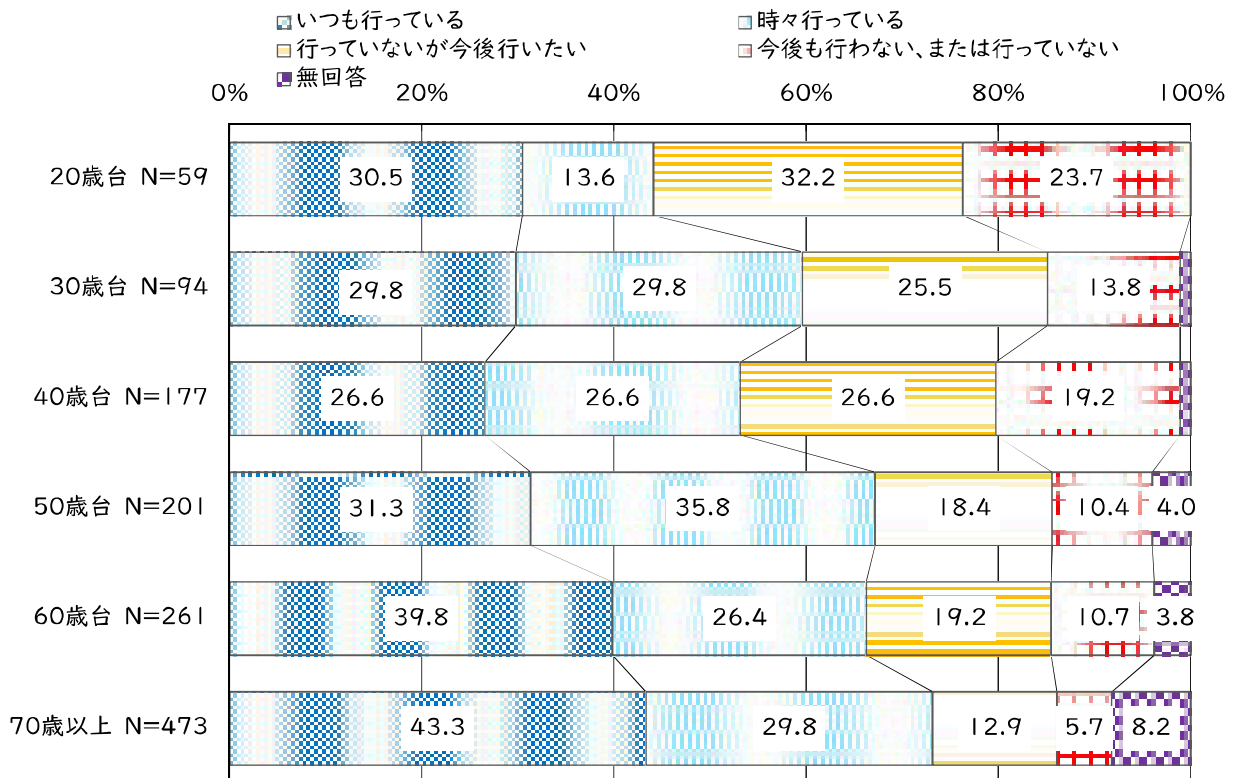
●「冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている」の項目は前年度から6.7ポイント増加した。



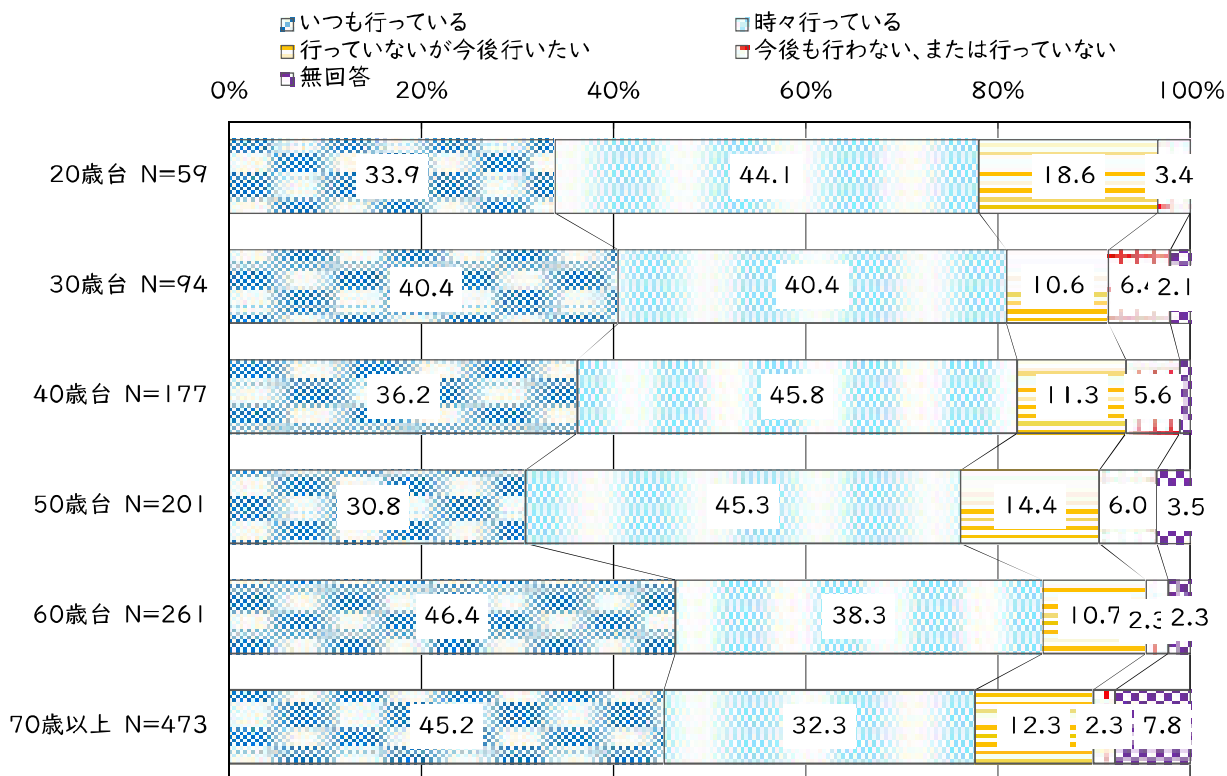
《環境家計簿をつけ、環境にやさしい日常生活になっているかチェックしている》



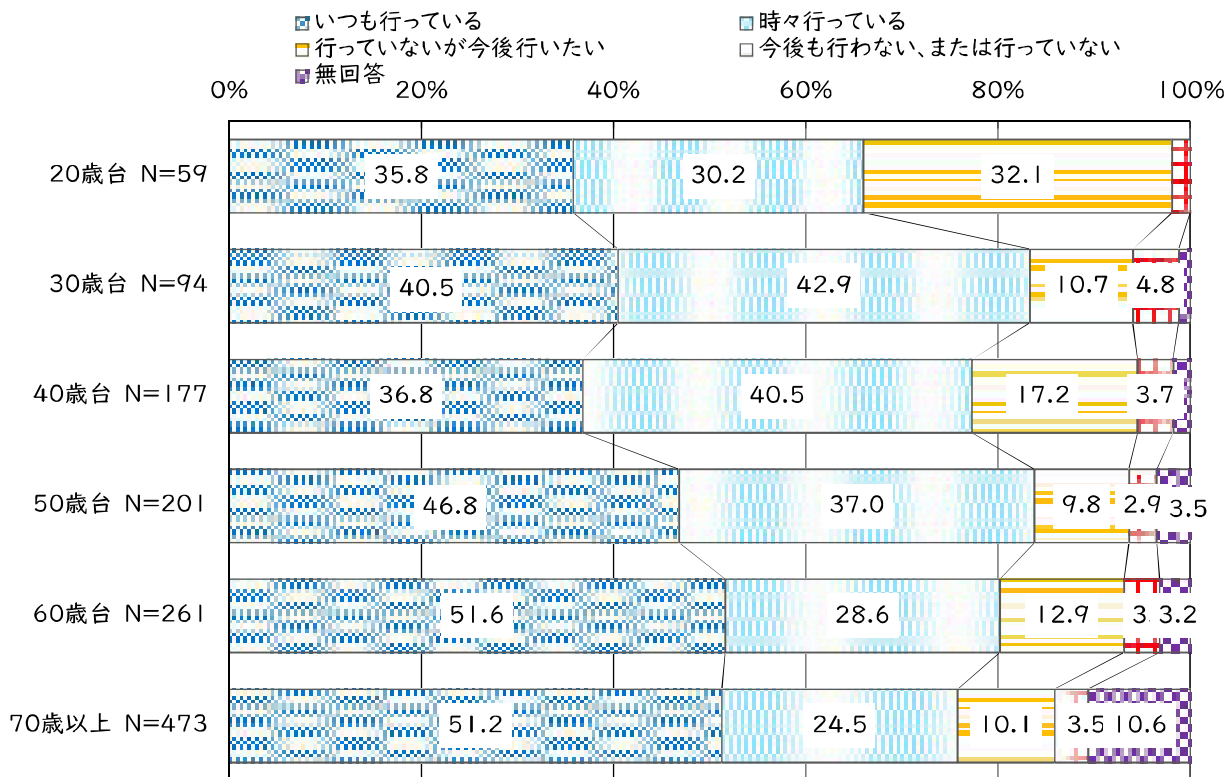
《冷房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている》



《テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている》

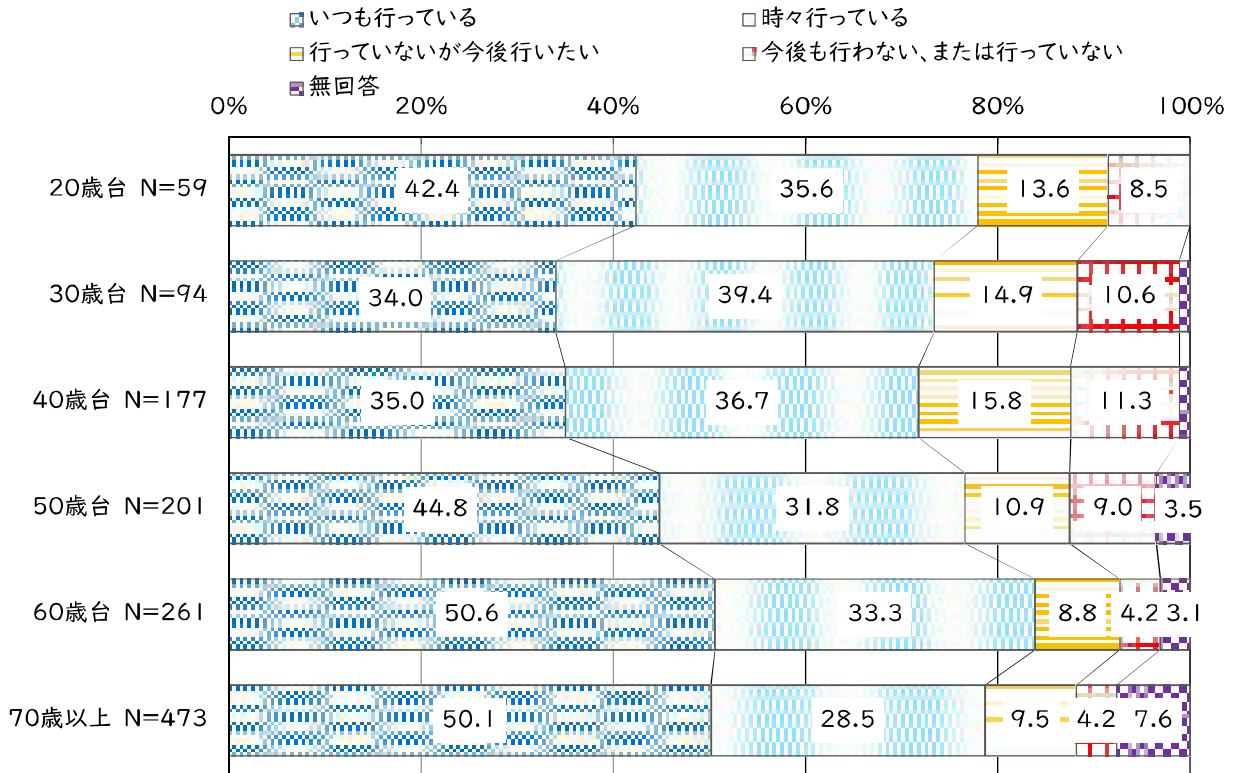


《シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている》

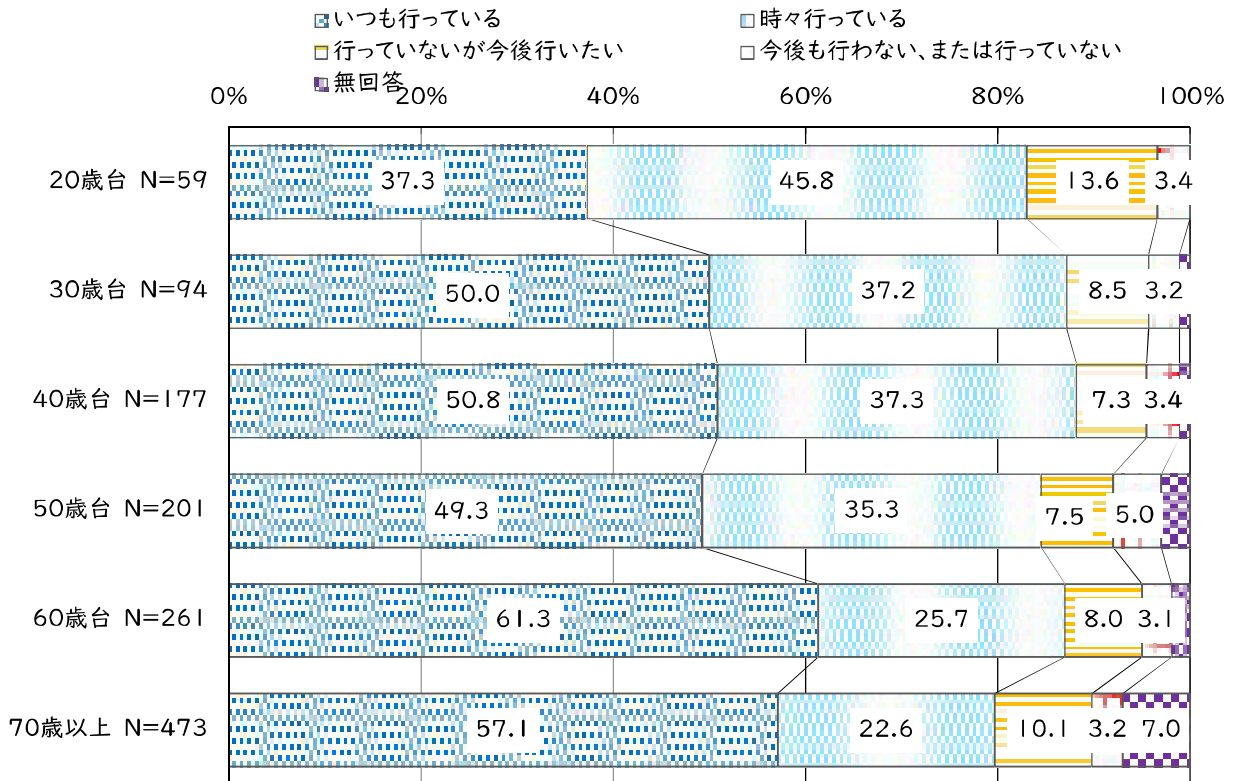


※「該当しない」を除外している

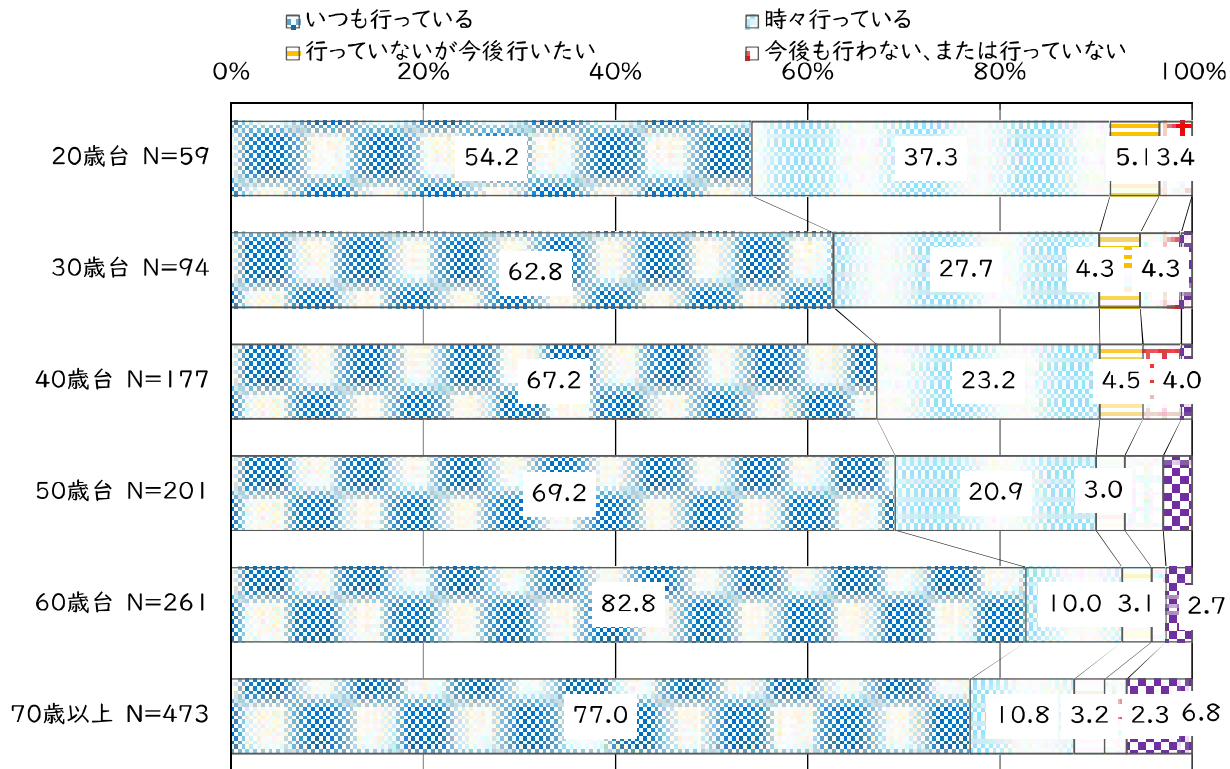
《血洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている》



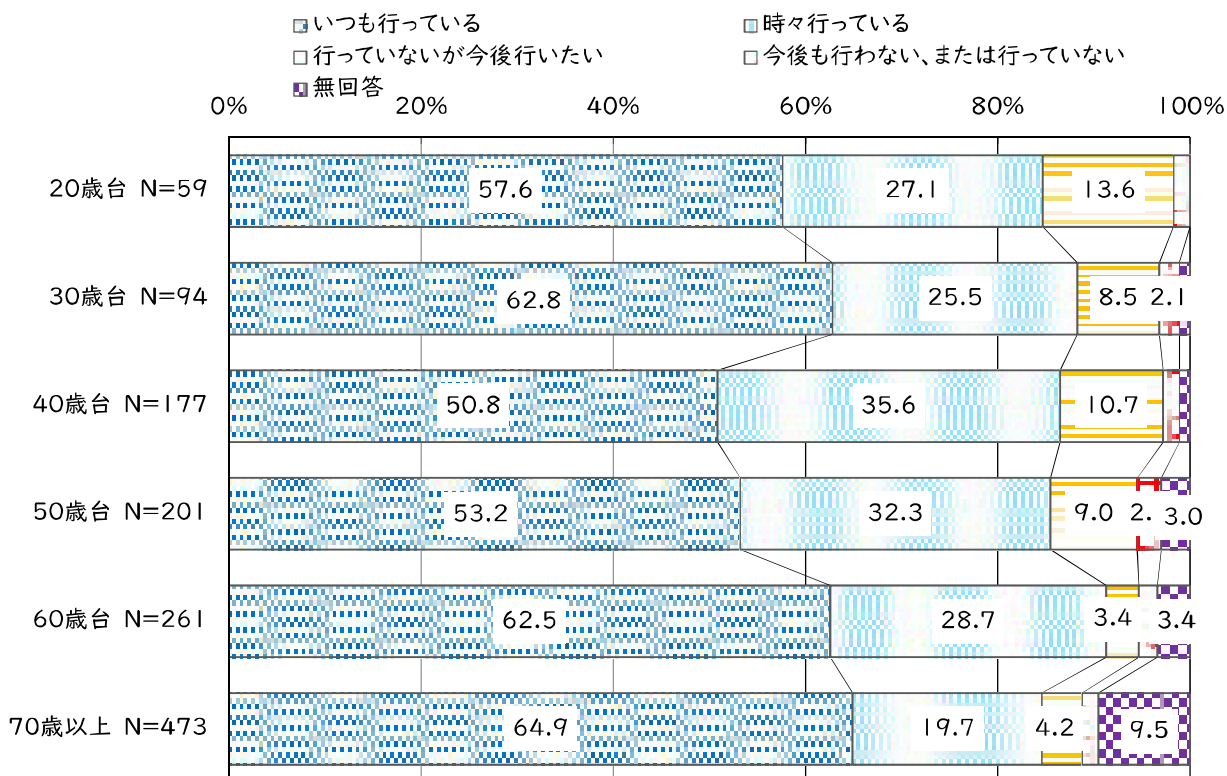
《歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている》



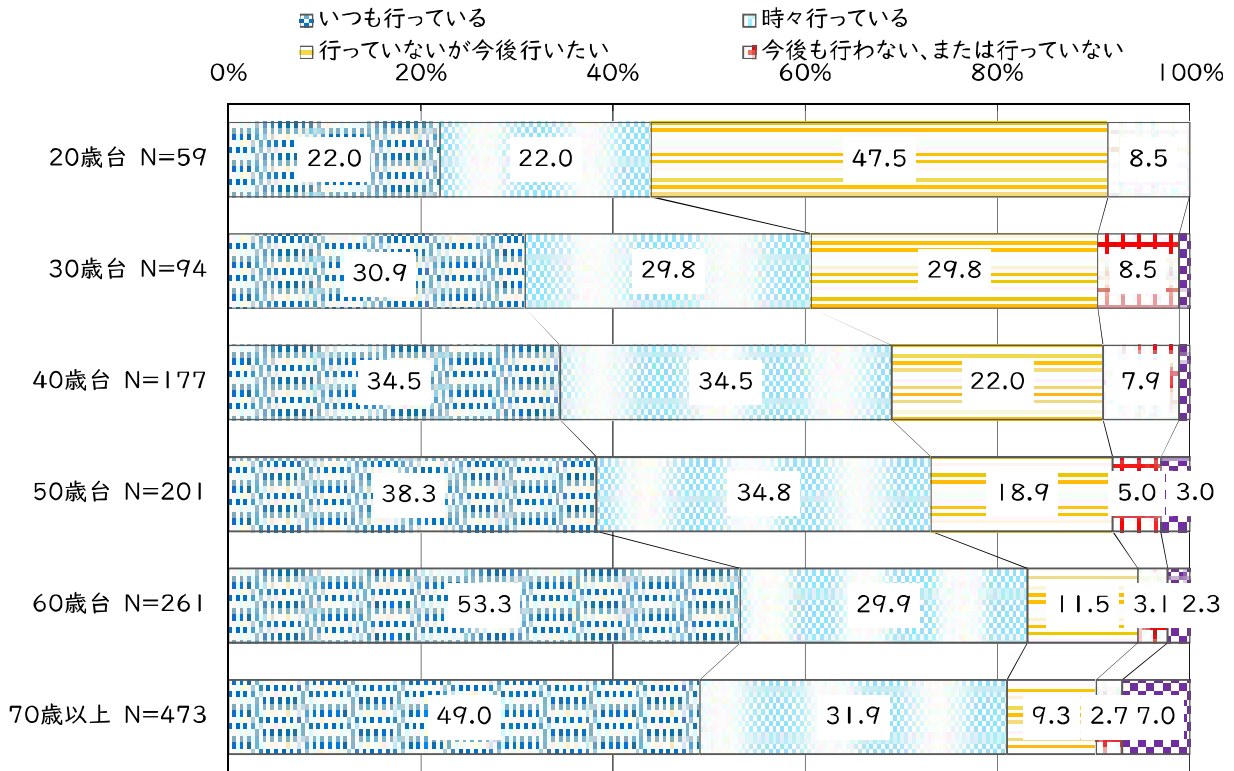
《買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている》



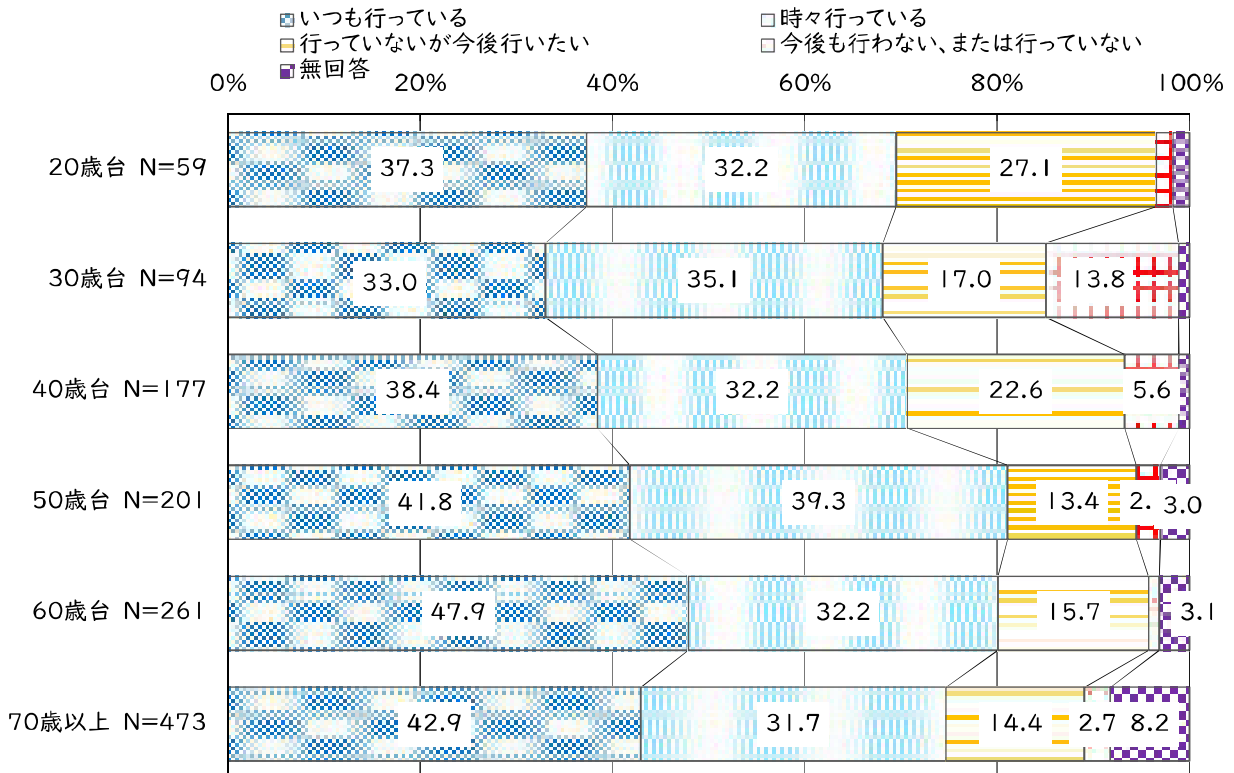
《食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている》



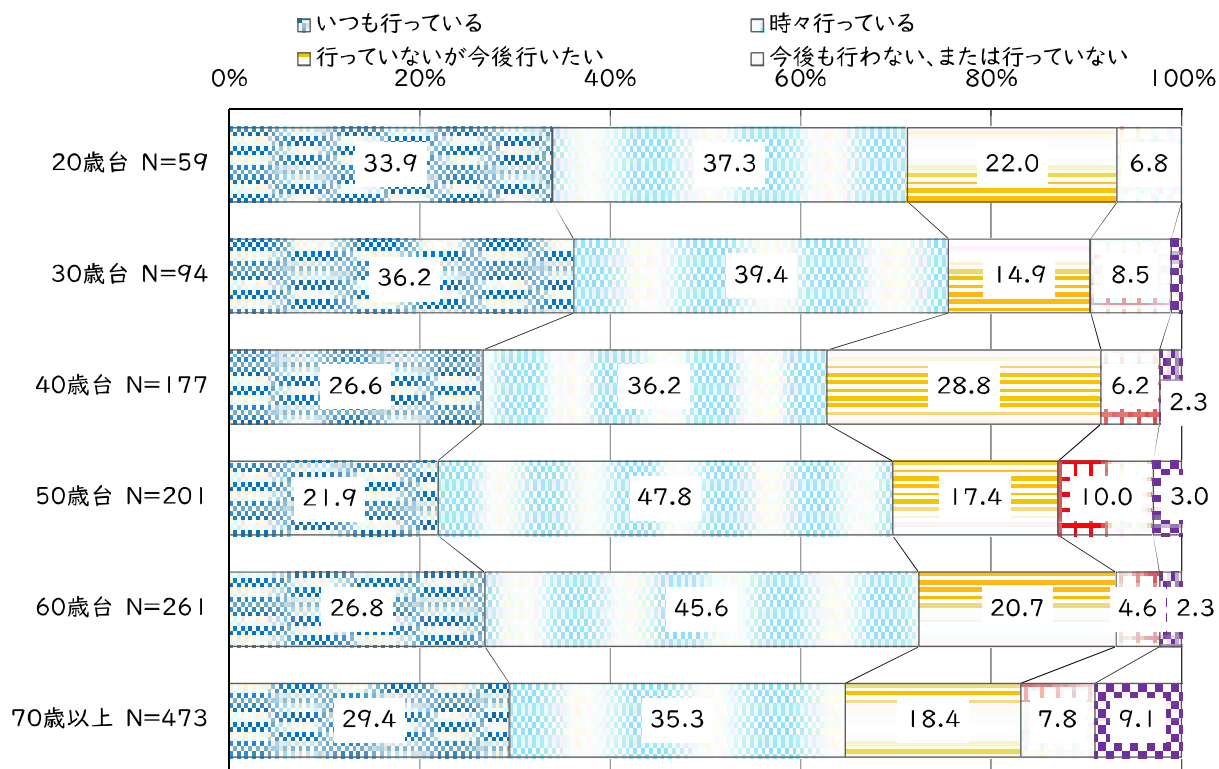
《生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり、生ごみの減量に取り組んでいる》



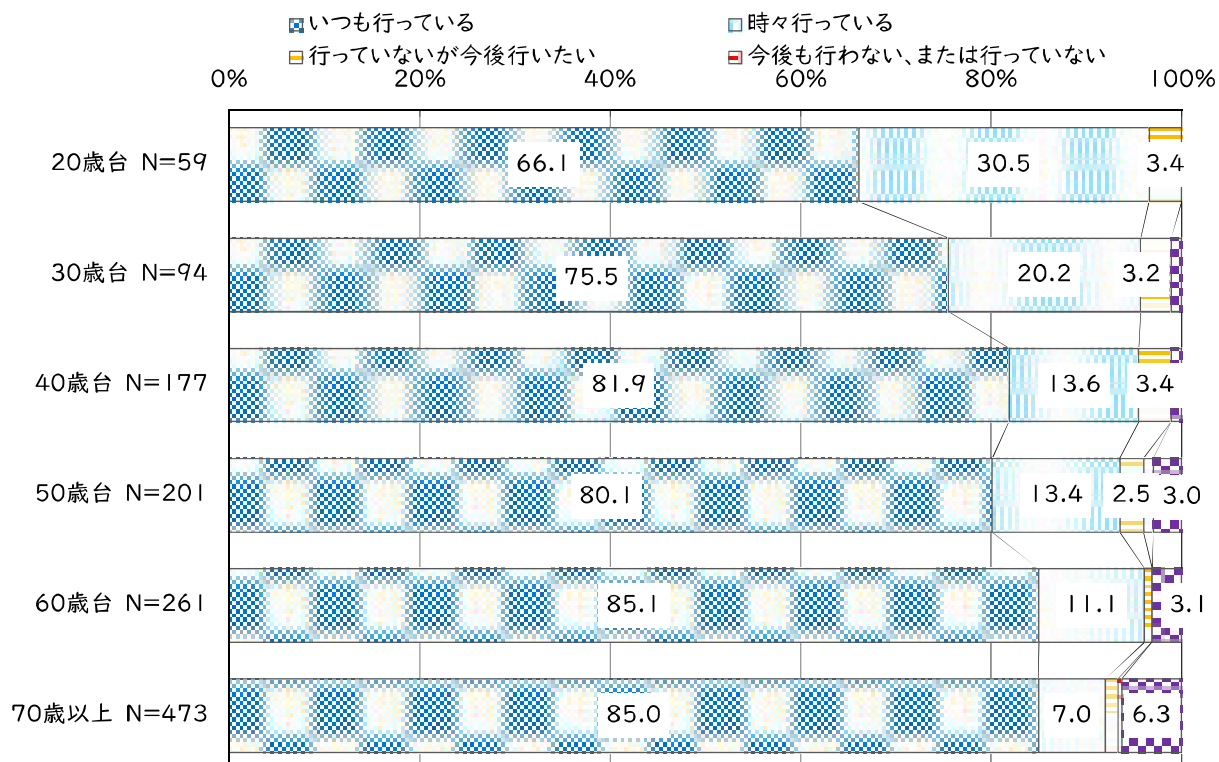
《詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している》



《物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている》

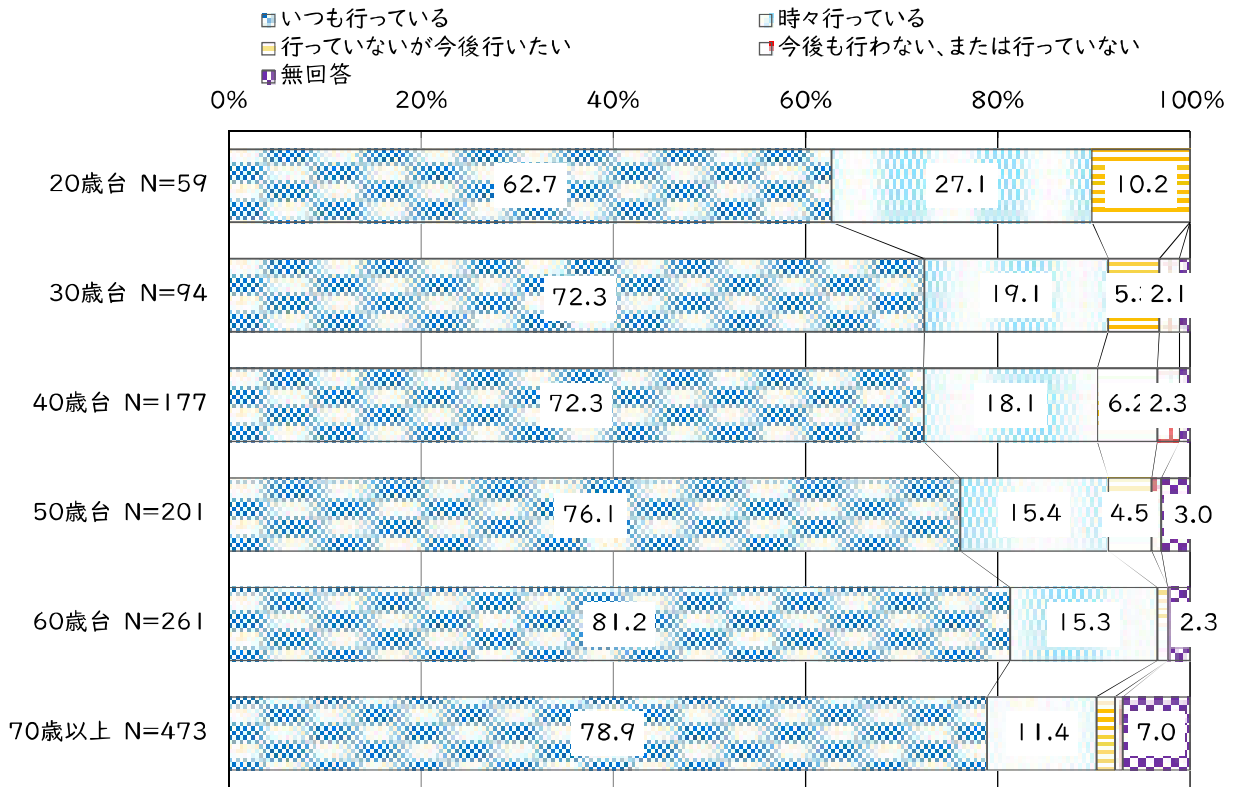


《ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている》

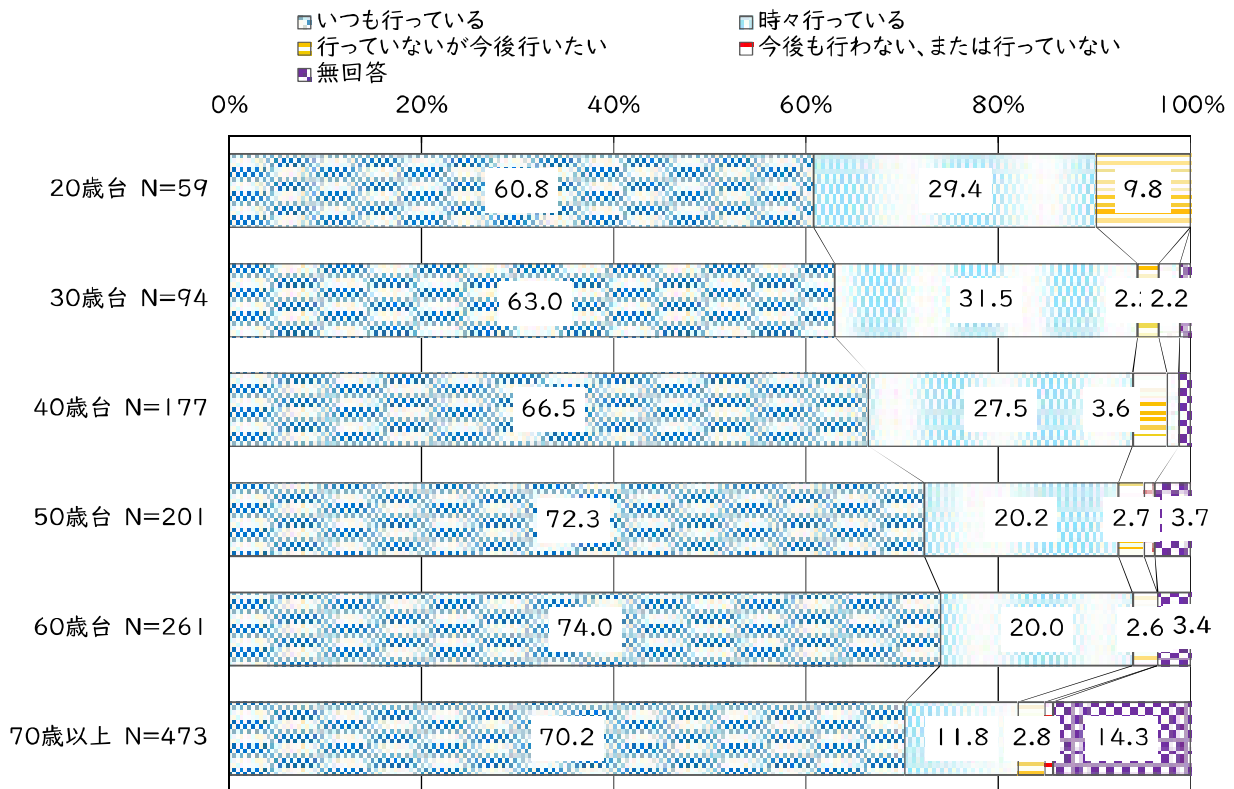




《油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている》

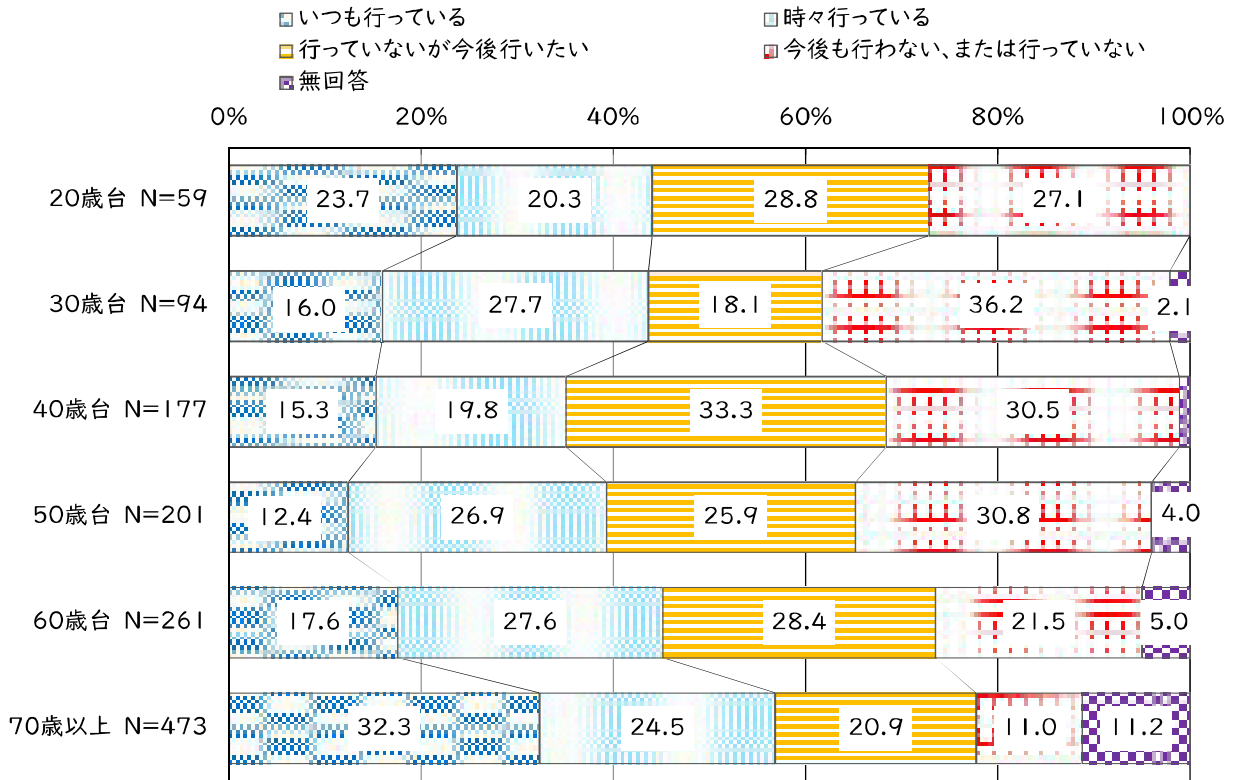


《車を使用するときは、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている》

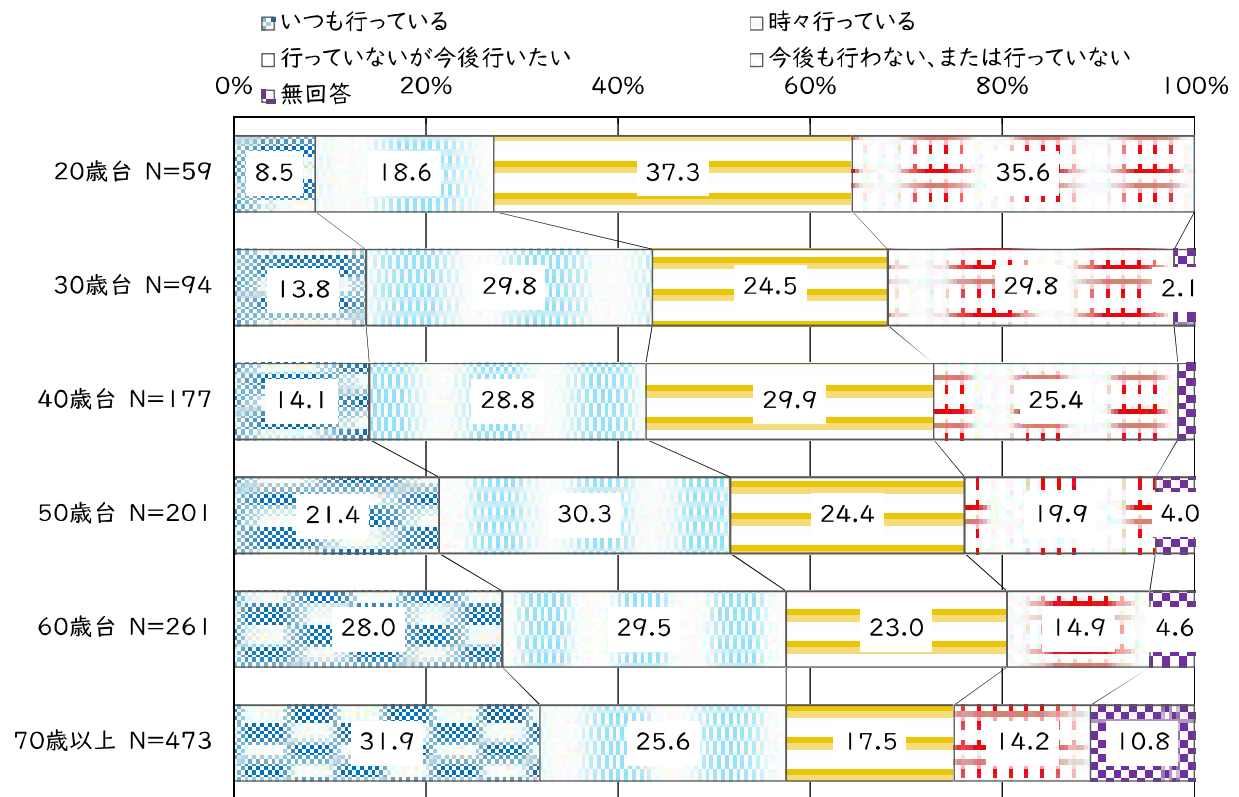


※「該当しない」を除外している

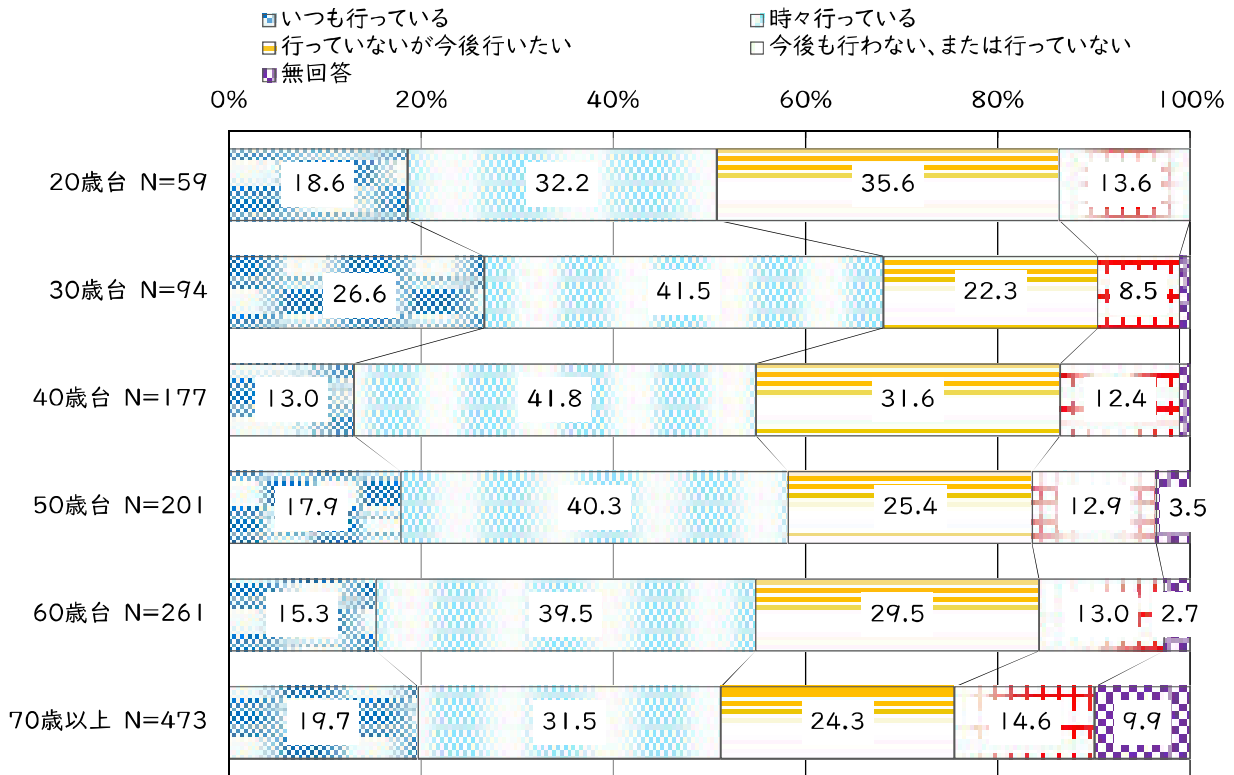
《なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている》



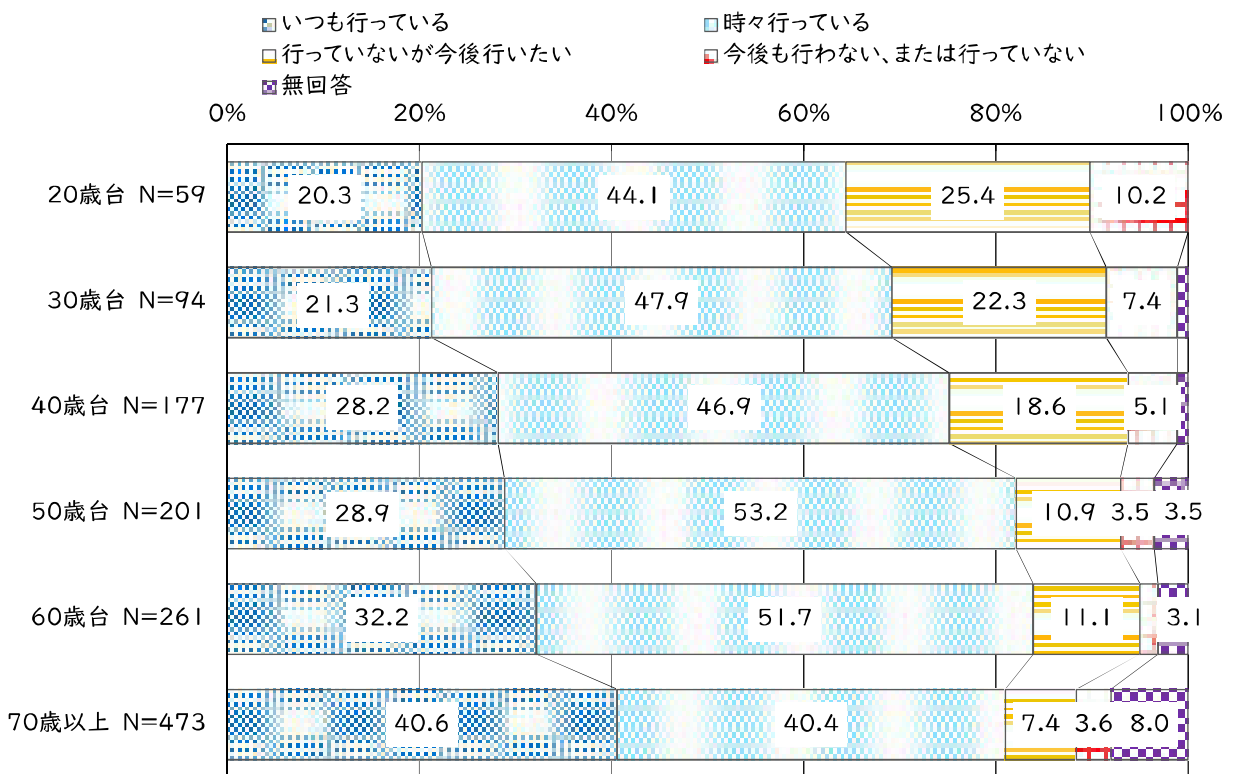
《地域における環境保全活動に参加している（地域の清掃、資源集団回収など）》



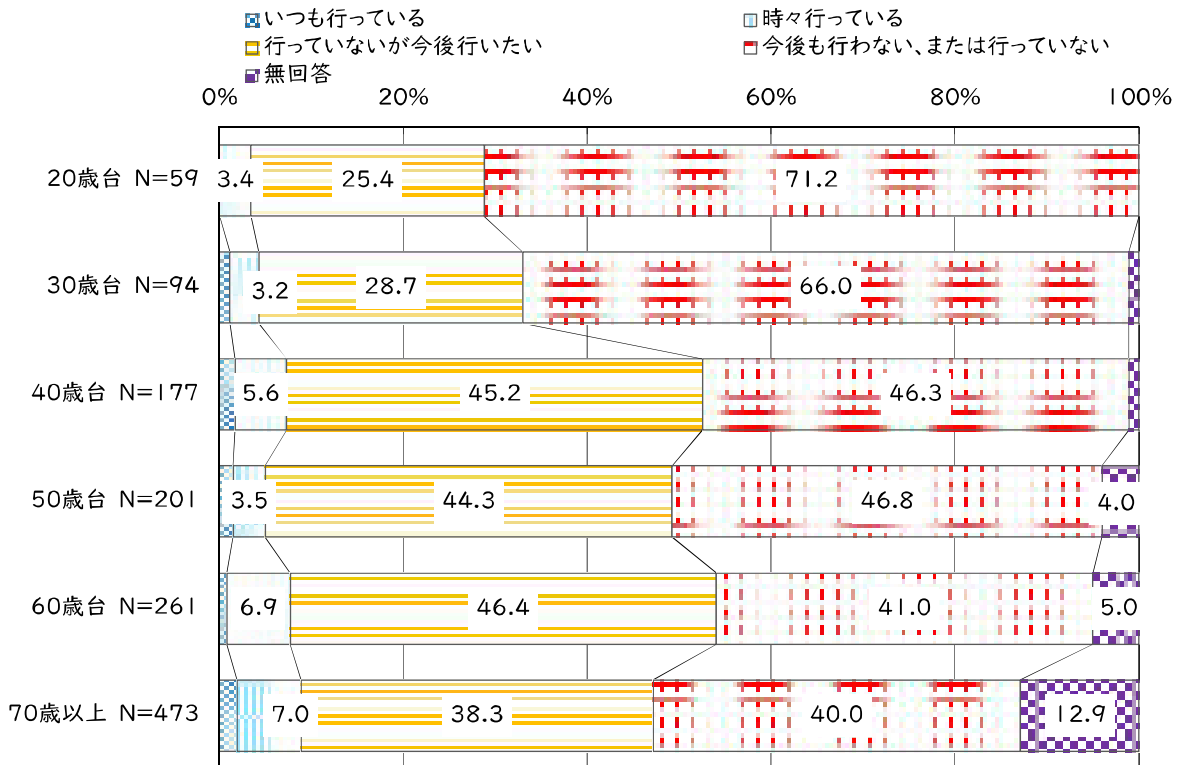
《山や海などの自然にふれあう機会を持っている》



《食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている》



《環境保全に関するイベントや講座などに参加している》



《問5 自由記入欄 ～その他の取り組み～》

■ 環境美化

- ごみが落ちているときは、できるだけ回収するように心がけている。
- 子供にも地域の清掃、資源回収に参加させ、自宅での分別方法も教えている。山、川、海で遊んだ後、ごみ拾いをさせて自宅で処分をしている。外出時のごみもなるべく持ち帰って自宅で捨てさせている。(自分もあふれている公共のごみ入れには捨てない様に注意している。)
- 去年、海開き前にビーチのごみ拾いに家族で参加した。楽しかったので佐世保でも計画してほしい。

■ ごみの減量・資源化

- スーパーやコンビニで半額の食品を見つけたら「食品ロス活」と思ってありがたく買わせて頂きます。
- コンポストによる生ごみの減量。
- 小さな畑を借りて、生ごみはなるべく発酵させ使っている。
- 野菜の皮、生ごみはコンポストにぼかしを入れて、肥料づくり、庭で野菜作りに使用。お茶がらは干して湿気取りとして使用、楽しみながらしています。
- ごみ袋を広告紙で作り、ビニール袋を使用しないようにしている。
- 落葉などはなるべく土に埋めて肥料にする

■ 地球温暖化の対策

- 冬はなるべく厚着をしています。お風呂は素早く。

■ その他

- コロナ対策として休みの日に朝イチにスーパーに買い物に行き買いだめします。肉や野菜 本日使う分などとoff食品も利用しています。形ふぞろいの野菜もたくさん利用しています。
- 私の家では、浄化槽を利用しているから、だけじゃダメですが、油が残るフライパン、食器の油は
- 子どもの着古しの布で油をふき取り、食器・フライパンを洗います。
- 古着のリサイクル、下着は掃除等に使って捨てる。
- 1日に5000歩歩く事にしている。
- 携帯灰皿の持参
- 家庭や職場において私1人が努めるのではなく、何がどう良いのかを家族やスタッフと理解を深め皆で協力してできることから取り組んでいます。
- テレビやニュースで環境問題について知ろうと見えています。大学の講座などで正しい環境知見を学んだりしています。リサイクル→工場→燃やす この間にガソリン代、人件費がかかり本当のリサイクルになっているのか?と学びました。

問6 問3にあるような環境保全の取り組みを実施するために、あなたが障害に感じていることは何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。

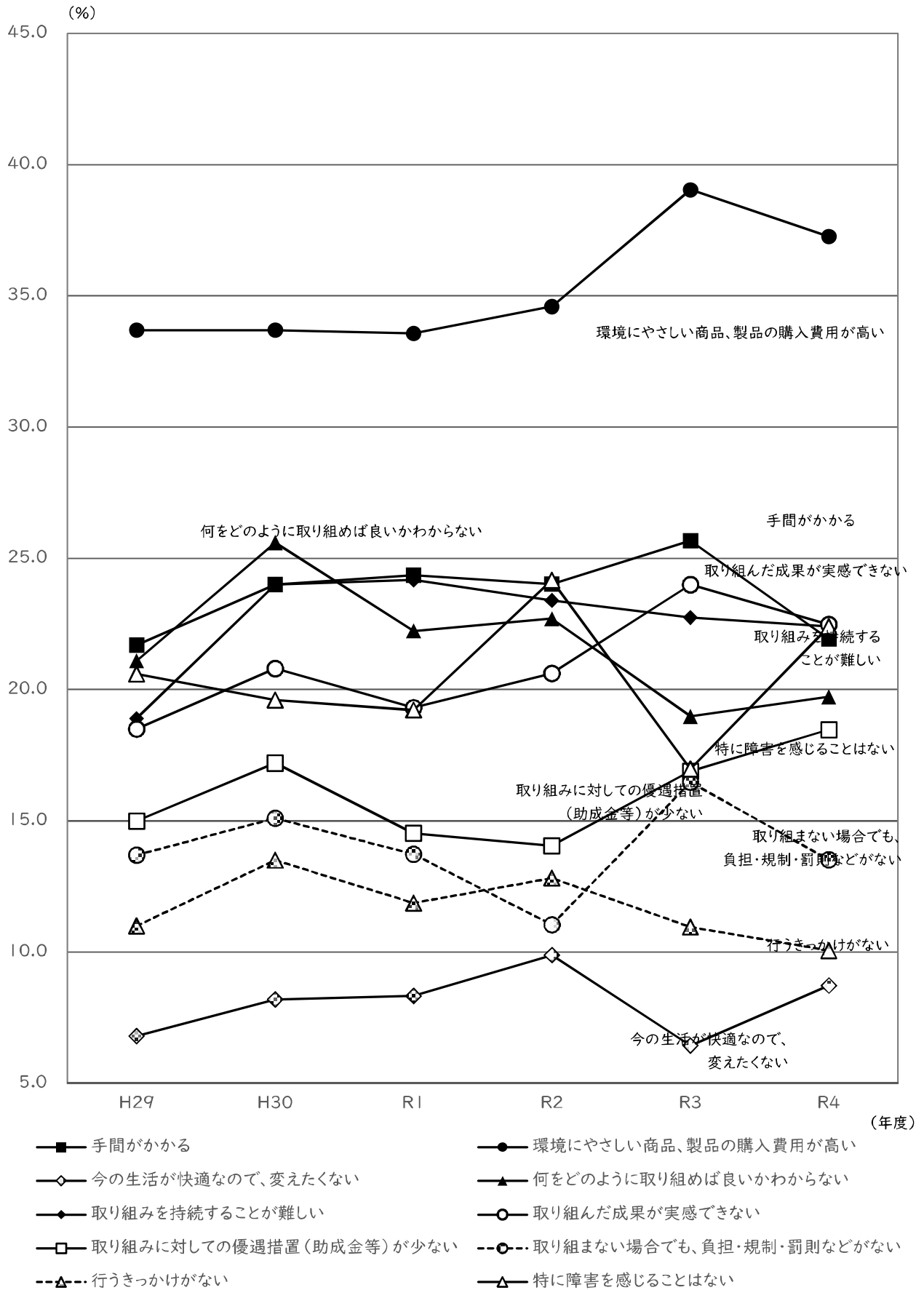
(障害と感じている割合が高い順)

項目	回答数	割合	前年度比	前年度
環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	474	37.3%	△ 1.8	39.0%
取り組んだ成果が実感できない	286	22.5%	△ 1.5	24.0%
取り組みを持続することが難しい	285	22.4%	△ 0.3	22.7%
特に障害を感じることはない	285	22.4%	5.4	17.0%
手間がかかる	279	21.9%	△ 3.7	25.7%
何をどのように取り組めば良いのかわからない	251	19.7%	0.8	19.0%
取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	235	18.5%	1.6	16.9%
取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などが無い	172	13.5%	△ 2.9	16.5%
行うきっかけがない	128	10.1%	△ 0.9	11.0%
今の生活が快適なので、変えたくない	111	8.7%	2.3	6.4%
その他	43	3.4%	△ 0.1	3.5%
合計	2,549			

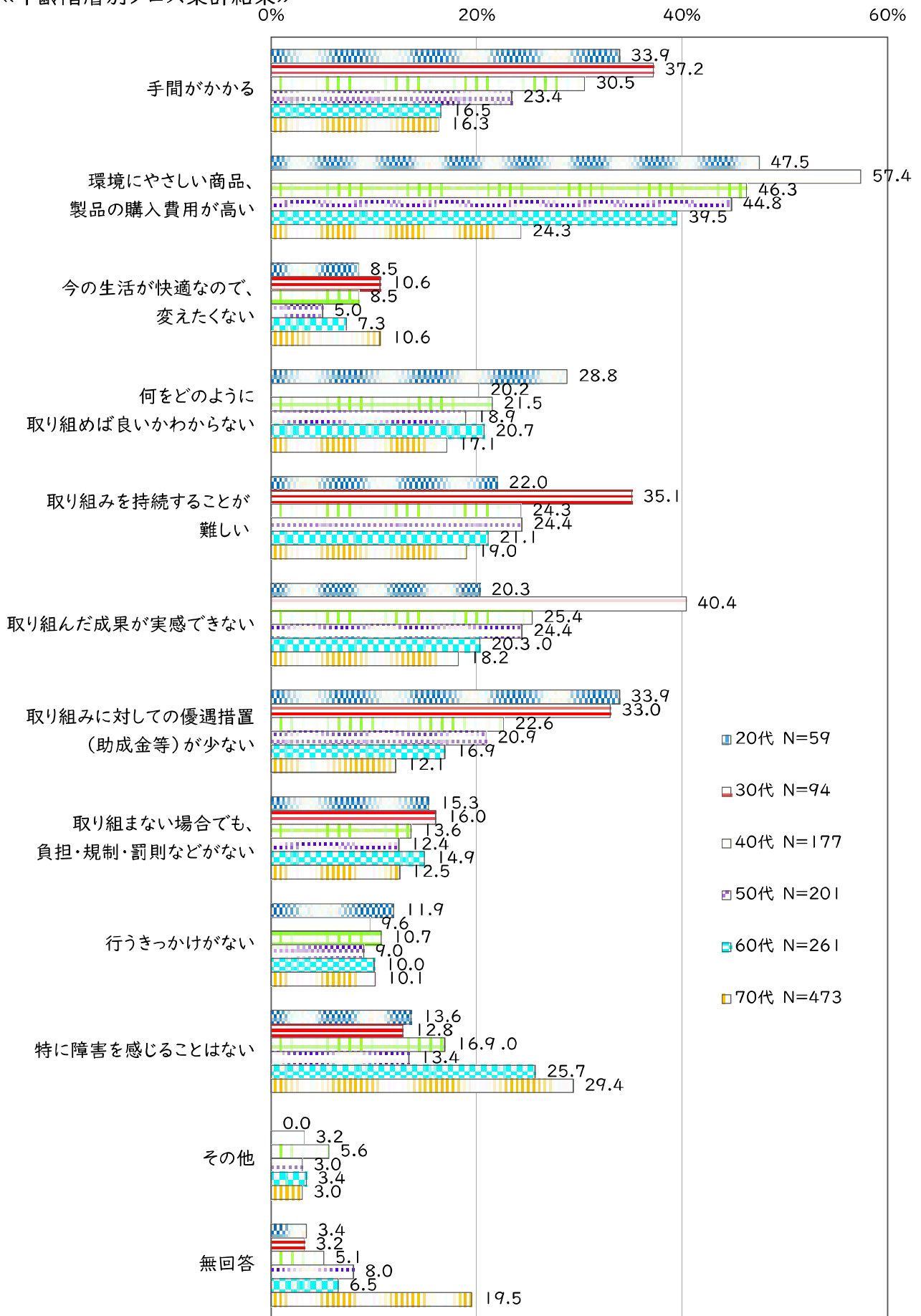
※複数回答可 ※有効回答数(N):1,272名

- 障害と感じている人が最も多かった項目は、前年度と同様に「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

《調査結果の経年比較》



《年齢階層別クロス集計結果》



《問6 自由記入欄 ～その他で障害と感じていること～》

※主な意見を抜粋

- 環境によいものや体によい食べ物は総じて高い。買いたくても買えない。
- 障害は感じません。自分なりに取り入れ方で努力しております。
- 社会全体で無理のない意識を高める様に!自分の行える範囲で良いのでは!
- 家庭用廃油を回収してほしい。資源ごみを細かく分別して欲しい。
- 体調を壊す。子供が風邪をひくため、冷暖房温度の目標を達成しづらい。
- ごみのポイ捨てが多い。ごみシュレッダーがあればいいが・・・
- 目標値がやや高い。どの項目についても心がけて生活しているが、具体的な目標値があるわけではない。習慣化できるよう意識を高める必要がある。
- ポイ捨てが余りに多く目に付き、家庭内及び教育において街の美化をどうするのかを教育する必要がある。
- クーラーの温度など体調との調整がある。
- 環境への配慮に関心も協力もしない知人がいてがっかりしてしまう。
- 自分さえよければいいさと思う人が多いのでは。
- 明らかな環境汚染の場合は、負担・罰則等が必要だと思う。
- 家の日当たりが悪く、暖房20度目安は厳しい。
- 高齢になると困難な事も多い
- 複層サッシを取り付けたが、既存の分の手前に付けたので二重になり、窓の開閉が不便になった。(補助金使用)3年前。
- S20年頃を思い現在の生活は贅沢すぎる。私は最低の生活をしている。
- 市民全員で取り組む姿勢が整っていない。取り組んでいる人がおかしいとする同調圧力。
- 無理せず長くつづける。また、新しい技術や商品がでたら取り入れる。
- 子どもは自室にこもるそれぞれの生活スタイルがあるので完璧な節電は難しい。
- 暖房の20℃は厳しく、22～23℃に設定。

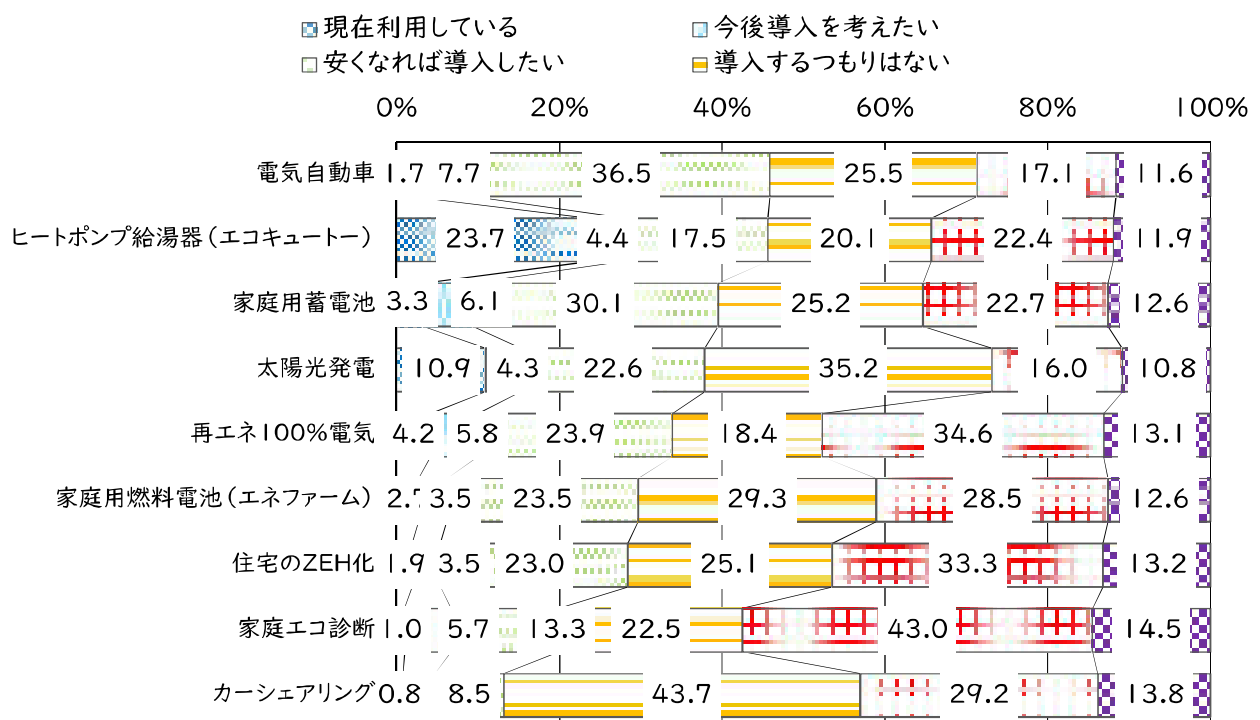


問7 あなたの家では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください。

(「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」割合が高い順)

質問事項 ( )内の数値は、「現在利用している」「今後導入を考えたい」「安くなれば導入したい」と回答した割合の合計	現在利用している	今後導入を考えたい	安くなれば導入したい	導入するつもりはない	わからない	無回答	合計
電気自動車 (45.9%)	22 1.7%	98 7.7%	464 36.5%	324 25.5%	217 17.1%	147 11.6%	1,272 100%
ヒートポンプ給湯器(エコキュート)	301 23.7%	56 4.4%	222 17.5%	256 20.1%	285 22.4%	152 11.9%	1,272 100%
家庭用蓄電池 (39.5%)	42 3.3%	78 6.1%	383 30.1%	320 25.2%	289 22.7%	160 12.6%	1,272 100%
太陽光発電 (37.8%)	139 10.9%	55 4.3%	288 22.6%	448 35.2%	204 16.0%	138 10.8%	1,272 100%
再エネ100%電気 (33.9%)	53 4.2%	74 5.8%	304 23.9%	234 18.4%	440 34.6%	167 13.1%	1,272 100%
家庭用燃料電池(エネファーム) (29.7%)	34 2.7%	44 3.5%	299 23.5%	373 29.3%	362 28.5%	160 12.6%	1,272 100%
住宅のZEH化 (28.4%)	24 1.9%	45 3.5%	292 23.0%	319 25.1%	424 33.3%	168 13.2%	1,272 100%
家庭エコ診断 (20.0%)	13 1.0%	72 5.7%	169 13.3%	286 22.5%	547 43.0%	185 14.5%	1,272 100%
カーシェアリング (13.2%)	10 0.8%	50 3.9%	108 8.5%	556 43.7%	372 29.2%	176 13.8%	1,272 100%

※有効回答者数(N):1,272人



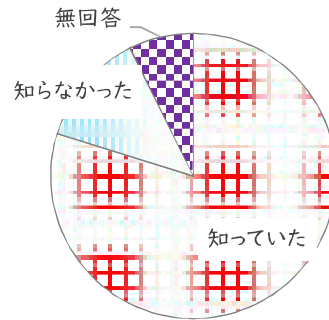
《食品ロスについて》

日本国内の年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,372万トン（令和2年度）で、このうち、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約522万トン（令和2年度）で、その約半分は一般家庭からとされています。日本人1人当たりに換算すると、「お茶碗約1杯分（約113g）の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

日本の食料自給率は現在38%（令和3年度）で、大半を輸入に頼っていますが、一方で、食べられる食料を大量に捨てており、その半数は家庭から出されています。

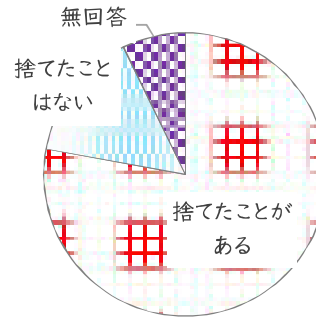
問8 上記のような日本の「食品ロス」の状況について、ご存知でしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	1015	79.8%
知らなかった	164	12.9%
無回答	93	7.3%
合計	1,272	



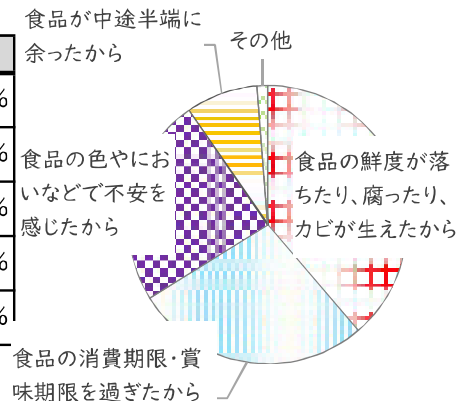
問9 これまでに、食品を食べることができずに、捨てたことはありますか。

項目	回答数	割合
捨てたことがある	990	77.8%
捨てたことはない	190	14.9%
無回答	92	7.2%
合計	1,272	



問10 問9で「捨てたことがある」と答えた方のみお答えください。食品を捨てた理由はなんですか。あてはまる

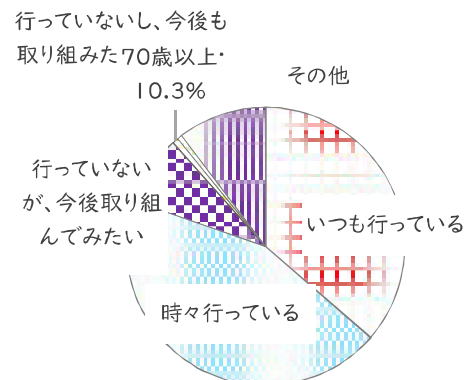
項目	回答数	割合
食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから	774	78.2%
食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから	548	55.4%
食品の色やにおいなどで不安を感じたから	485	49.0%
食品が中途半端に余ったから	167	16.9%
その他	25	2.5%
合計	1,999	



※複数回答可 ※有効回答数(N)=990人

問11 食品ロスをなくす取り組みをしていますか。

項目	回答数	割合
いつも行っている	463	36.4%
時々行っている	558	43.9%
行っていないが、今後取り組んでみたい	103	8.1%
行っていないし、今後取り組みたいと思わない	9	0.7%
その他	8	0.6%
無回答	131	10.3%
合計	1,272	



《問10 自由記入欄 ～その他、食品を捨てた理由～》

※主な意見を抜粋

- 添加物をばんばん入れて腐らないものを作るのは間違っていると思う。
- 作った量、購入量をうまく調整できていない。
- 子供の食べ残し
- 来客の為に少し買い過ぎた。
- 1人世帯でどうしてもロスが出てくる。
- 食材を料理した食べきれずに処分したことがある。
- 野菜特に葉物(ネギ)
- 苦手な食材が使われていたから。
- いただき物で好みに合わなかったから。
- 体調が悪かったから
- 購入したことを忘れていた。

《問11 自由記入欄 ～その他、食品を捨てた理由～》

※主な意見を抜粋

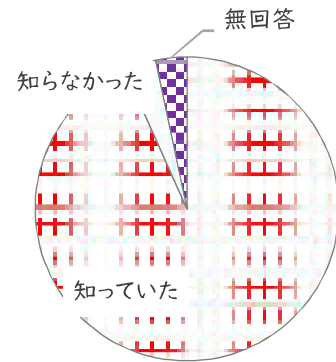
- コンポストで残飯を処理し肥料として使っている
- 妻に口出しが出来ない。
- 家族の一部が取り組めていない。
- 日付が期限に近い商品が多くあまりがでるので、あらかじめ少量販売すること。
- ロスが出ないように努力しているがどうしてもロスが生じる。
- 賞味期限が短い、小包装を考えてほしい。
- 老人は毎日買い物に出掛けないのでつい買い過ぎてしまう。

《古紙類の資源化について》

全国的には家庭から出される燃やせるごみのうち1割程度が資源化できる古紙類であると言われて

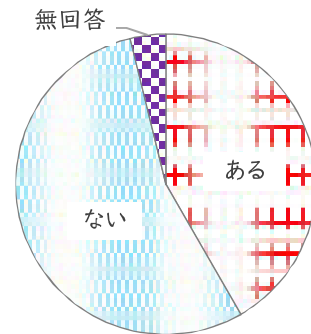
問12 新聞紙、雑誌、飲料用紙パック、段ボールなどは資源物(古紙類)になりますが、臭いや汚れのついた紙、また加工された紙は「燃やせるごみ」になることをご存じでしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	1,187	93.3%
知らなかった	43	3.4%
無回答	42	3.3%
合計	1,272	



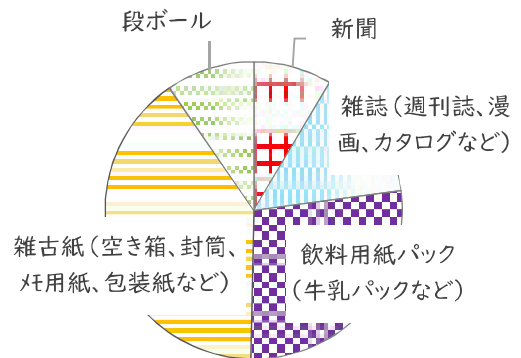
問13 資源になる「古紙類」を燃やせるごみに出したことがありますか？

項目	回答数	割合
ある	531	41.7%
ない	693	54.5%
無回答	48	3.8%
合計	1,272	



問14 問13で「ある」と答えた方のみお答えください。どのような古紙を燃やせるごみに出しましたか？

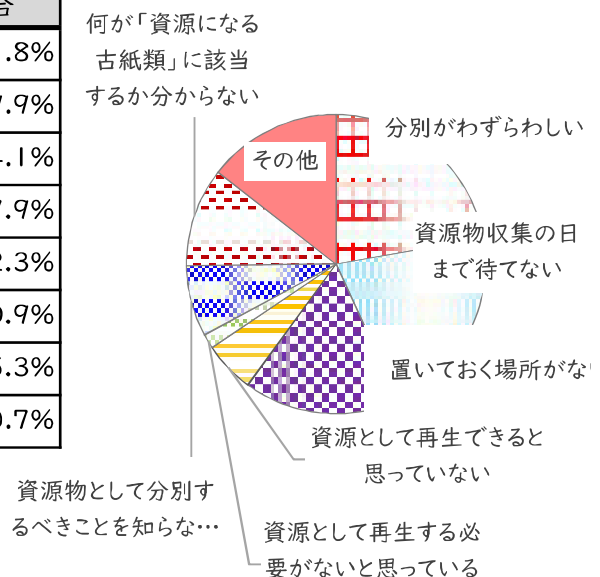
項目	回答数	割合
新聞	85	16.0%
雑誌(週刊誌、漫画、カタログなど)	144	27.1%
飲料用紙パック(牛乳パックなど)	274	51.6%
雑古紙(空き箱、封筒、F用紙、包装紙など)	401	75.5%
段ボール	96	18.1%
合計	1,000	



※複数回答可 ※有効回答数(N)=531人

問15 古紙を燃やせるごみに出した理由は何ですか？

項目	回答数	割合
分別がわずらわしい	169	31.8%
資源物収集の日まで待てない	159	29.9%
置いておく場所がない	128	24.1%
資源として再生できると思っていない	42	7.9%
資源として再生する必要がないと思っている	12	2.3%
資源物として分別すべきことを知らなかった	58	10.9%
何が「資源になる古紙類」に該当するか分からない	81	15.3%
その他	110	20.7%
合計	759	



※複数回答可 ※有効回答数(N)=531人

見開きページ  
調整用の余白です



佐世保市環境部のキャラクター  
「ダストンくん」